

株式会社やまや

2023年3月期

第2四半期

決算説明資料

2022年4月1日～2022年9月30日



宮城県仙台市宮城野区榴岡3丁目4-1

アゼリアヒルズ19階

TEL 022-742-3114(経理部)

FAX 022-742-3100

第1部:連結 2023年3月期 第2四半期の業績

連結 2023年3月期 第2四半期実績

■ 売上高	757.6 億円	(前年同期比	7.9%)	
■ 営業利益	5.3 億円	(前年同期比	387.5%)	
■ 経常利益	6.1 億円	(前年同期比	△89.9%)	
■ 親会社株主に帰属 する四半期純利益	5.6 億円	(前年同期比	△79.8%)	
■ EBITDA	13.0 億円	(前年同期比	△80.8%)	※EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

参考: 営業外収益

雇用調整助成金 0.4 億円 (前年実績 11.4 億円)

新型コロナウイルス拡大防止協力金 0.2 億円 (前年実績 48.0 億円)

単位: 百万円

	第2四半期累計(前期)		第2四半期累計(当期)					
	実績	構成比	業績予想	構成比	実績	構成比	予想比	前期比
売上高	70,243	-	73,000	-	75,769	-	3.8%	7.9%
売上総利益	15,914	22.7%	18,961	26.0%	19,170	25.3%	1.1%	20.5%
販管費	15,804	22.5%	18,671	25.6%	18,636	24.6%	△0.2%	17.9%
営業利益	109	0.2%	290	0.4%	534	0.7%	84.1%	387.5%
経常利益	6,101	8.7%	300	0.4%	619	0.8%	106.3%	△89.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	2,794	4.0%	320	0.4%	564	0.7%	76.3%	△79.8%
EBITDA	6,822	-	-	-	1,307	-	-	△80.8%

株式会社D&D

セグメント別 2022年3月期 第2四半期実績

● 酒販事業

■ 売上高	658.8 億円	(前年同期比	△1.0%)
■ 営業利益	18.5 億円	(前年同期比	△24.6%)

● 外食事業

■ 売上高	100.1 億円	(前年同期比	162.6%)
■ 営業利益	△13.2 億円	(前年同期比	-)

単位:百万円

	第2四半期累計(前期)				第2四半期累計(当期)					
	酒販事業		外食事業		酒販事業			外食事業		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比
売上高	66,574	-	3,814	-	65,884	-	△1.0%	10,016	-	162.6%
売上総利益	13,428	20.2%	2,508	65.8%	12,841	19.5%	△4.4%	6,351	63.4%	153.2%
販管費	10,969	16.5%	4,863	127.5%	10,988	16.7%	0.2%	7,675	76.6%	57.8%
営業利益	2,458	3.7%	△2,354	△61.7%	1,853	2.8%	△24.6%	△1,323	△13.2%	-

株式会社P&P

連結財務状況 2023年3月期 第2四半期(バランスシート)

- 総資産 642.5 億円 (前期末比 5.4%)
- 負債 356.6 億円 (前期末比 11.8%)
- 純資産 285.9 億円 (前期末比 △1.7%)
- 自己資本 277.4 億円 (前期末比 1.0%)

単位:百万円

	2022年3月期 期末	2023年3月期 第2四半期末	前期末比
流動資産	37,540	40,952	9.1%
固定資産	23,437	23,305	△0.6%
流動負債	24,762	28,622	15.6%
固定負債	7,130	7,043	△1.2%
純資産	29,084	28,592	△1.7%
総資産	60,977	64,257	5.4%

■ 資産に関するポイント

現金及び預金 148.6億円 (+10.6億円)
 商品及び製品 178.7億円 (+20.5億円)
 有形固定資産 111億円 (+1.9億円)
 のれん 20.6億円 (△0.9億円)

■ 負債に関するポイント

買掛金 130億円 (+37.9億円)
 短期借入金 100億円 (△0億円)
 1年内返済予定の長期借入金 1.6億円 (+0.1億円)
 長期借入金 29.7億円 (△0.8億円)

■ 純資産に関するポイント

利益剰余金 184.8億円 (+2.8億円)
 非支配株主持分 8.4億円 (△7.7億円)

株式会社やまや

連結財務状況 2023年3月期 第2四半期(キャッシュ・フロー)

単位:百万円

	前第2四半期	当第2四半期
	連結累計	連結累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	△223	2,130
税金等調整前四半期純利益	4,626	510
減価償却費・のれん償却費	687	645
雇用調整助成金の未収	△127	197
仕入債務の増加	△727	3,790
その他合計	△4,682	△3,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170	△576
固定資産の取得による支出	△499	△644
その他合計	329	68
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,813	△485
短期借入金の純増減額	△50	-
長期借入金の借入による収入	2,260	-
長期借入金等の返済による支出	△114	△108
配当金、その他の支出	△283	△377
現金及び現金同等物の増減額	1,419	1,068
現金及び現金同等物の期首残高	8,664	13,791
現金及び現金同等物の期末残高	10,083	14,859

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益 5.1 億円

減価償却費 5.4 億円

のれん償却費 0.9 億円

たな卸資産の増減額 △20.5 億円

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出 △6.4 億円

差入保証金の回収による収入 2.0 億円

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額 △2.8 億円

株式会社ヤマダ

連結 2023年3月期 業績予想

- 売上高 1,480.0 億円 (前年同期比 3.2%)
- 営業利益 20.0 億円 (前年同期比 211.0%)
- 経常利益 20.0 億円 (前年同期比 $\Delta 77.2\%$)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 15.0 億円 (前年同期比 $\Delta 65.9\%$)

単位:百万円

	2022年3月期		2023年3月期		
	実績	構成比	業績予想	構成比	前期比
売上高	143,420	-	148,000	-	3.2%
営業利益	643	0.4%	2,000	1.4%	211.0%
経常利益	8,781	6.1%	2,000	1.4%	$\Delta 77.2\%$
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,401	3.1%	1,500	1.0%	$\Delta 65.9\%$

(2023年3月期予想セグメント別)

	酒販事業		外食事業	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	126,395	$\Delta 4.0\%$	21,606	78.1%

株式会社ヤマザキ

連結 2023年3月期 第2四半期業績のポイント

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が段階的に緩和され、社会経済活動の正常化が徐々に進みましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の影響による資源価格や原油価格の高騰、急激な円安に伴う物価上昇など、先行きは極めて不透明な状況が続いております。

酒販事業における売上高は658億84百万円(前年同期比1.0%減)、営業利益は18億53百万円(同24.6%減)となりました。当第2四半期連結累計期間は、昨年の巣ごもり需要の伸びが、その半分程度は継続して残っており、売上高は前年同期間には及ばないものの、コロナ前の2020年3月期同期間よりは高く推移しました。ビール類の10月メーカー値上げに伴い、9月にはビール等の買い置き需要、仮需が発生しました。その結果、当四半期累計の売上高は前年同等の水準となりました。

お客様の生活スタイルの変化に対応すべく、「やまやドライブスルー」や「セミセルフレジ」の展開を強化し、お客様の利便性向上に努め、外出機会の増加により必要とされたキャンプ用商材や里帰り用の手土産商品、業務用商材等の品揃えを拡充するなど、お客様のニーズにお応えして売上向上に努めました。

新規出店として、宮古宮町店(岩手県)、鉄砲町店(山形県)、岡山平井店(岡山県)、姪浜小戸店(福岡県)の4店に、旧店を閉店し、移転した築館店(宮城県)を加え、計5店を開店しました。

2022年9月末における酒販事業の総店舗数は、349店舗(前年同期比4店増)となりました。

外食事業における売上高は100億16百万円(前年同期比162.6%増)、営業損失は13億23百万円(前年同期は営業損失23億54百万円)となりました。

外食業界におきましては、4月から6月において売上高に緩やかな回復が見られましたが、6月下旬頃から感染者数が増加すると、大人数での会食や宴会への自主的な自粛の雰囲気が高まり、宴会のキャンセルが相次ぐなど、居酒屋業態は厳しい状況が続きました。しかし、その後は感染者数の減少に伴い、9月以降の売上高は再び回復基調にあります。

このような状況のなか、当社グループはお客様と従業員の安全・安心を第一とし、感染拡大の防止と経済活動の両立を図りながら営業に努めてまいりました。主として居酒屋業態においては、ランチタイムや15時前の売上増加、昼飲み需要、定食など食事需要への対応を促進し、定食、テイクアウト、デリバリーメニュー等の充実に努めました。新しい取り組みとして、ちゃんこ鍋などを販売する冷凍自動販売機を設置いたしました。

また、「からあげ千ちゃん」の旨塩からあげは、からあげグランプリにて金賞を受賞することができました。直営店の新規出店はありませんでした。業態転換及びリフレッシュ改装を実施し、当社の強みである魚をメインとした「魚屋」業態は、お客様にご好評をいただいております。各種値上がりの対応としては、配膳ロボット、スマホオーダーの導入などのDX推進を継続するとともに、生産性の向上に努め、損益分岐点売上高の更なる引き下げに努めております。

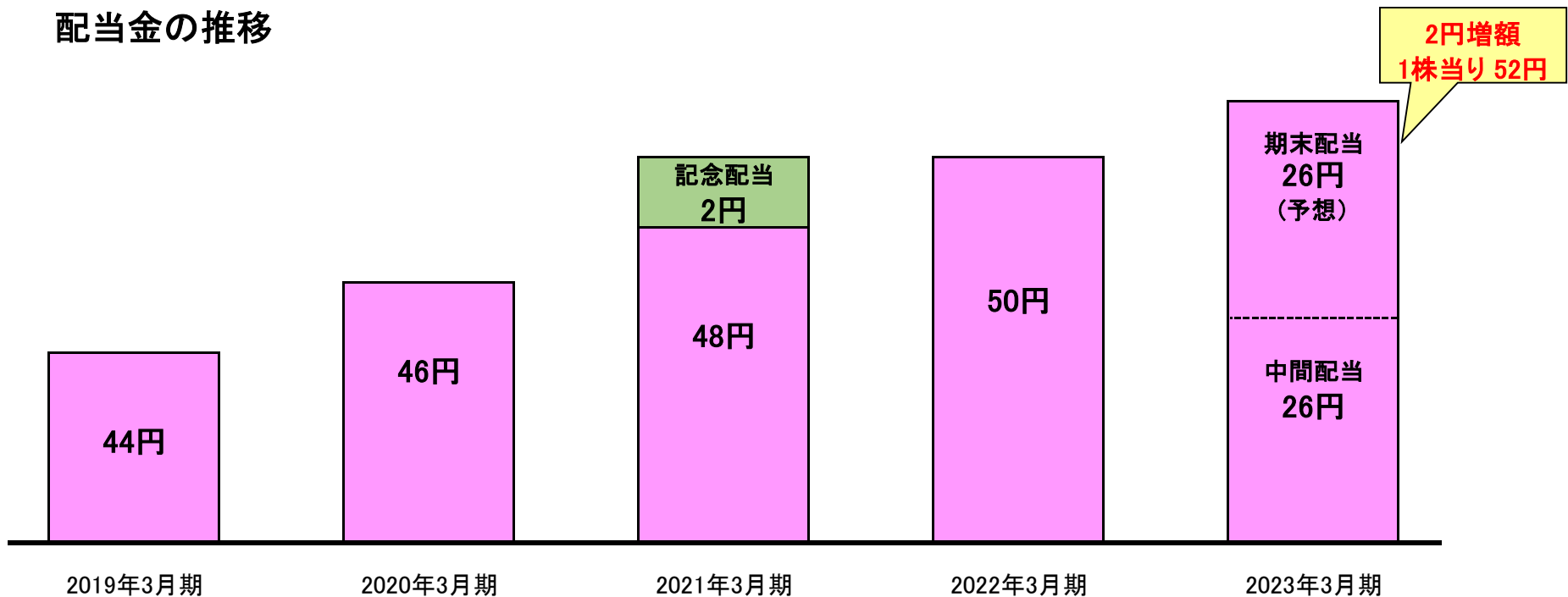
2022年9月末の飲食直営店は、367店(前年同期比22店減)、飲食FC店は、330店(同26店減)となり、飲食店の総店舗数は、697店(同48店減)となりました。

株式会社やまや

配当政策について

- 当社は、安定的な配当を継続することが配当政策上重要であると考えております。さらに、企業体質の一層の強化と今後の事業展開に備えるための内部留保の充実を勘案して、株主への配当を実施していくことを基本方針とし、中間配当と期末配当の年2回の配当を行うことによりしております。
- この方針に基づき、2023年3月期の中間配当を、直近の中間期決算を考慮し、公表済みの配当予想のとおり、1株当たり26円といたしました。期末配当については1株当たり26円、合計1株につき52円を予想しております。

配当金の推移



業態(屋号)別店舗数について(2022年9月末現在)

＜酒販事業＞	店舗数	うちダイソー併設店舗数
やまや	340	43
業務店・通販	9	0
小計	349	43

＜外食事業＞	店舗数	うちFC店舗数
はなの舞	119	63
さかなや道場	115	32
安べゑ	34	0
牛星	11	5
その他	117	64
コントラクト事業	92	0
チムニー子会社3社	38	0
つぼ八	139	136
伊藤課長等	32	30
小計	697	330

グループ合計店舗数	1,046
-----------	-------

株式会社PまP

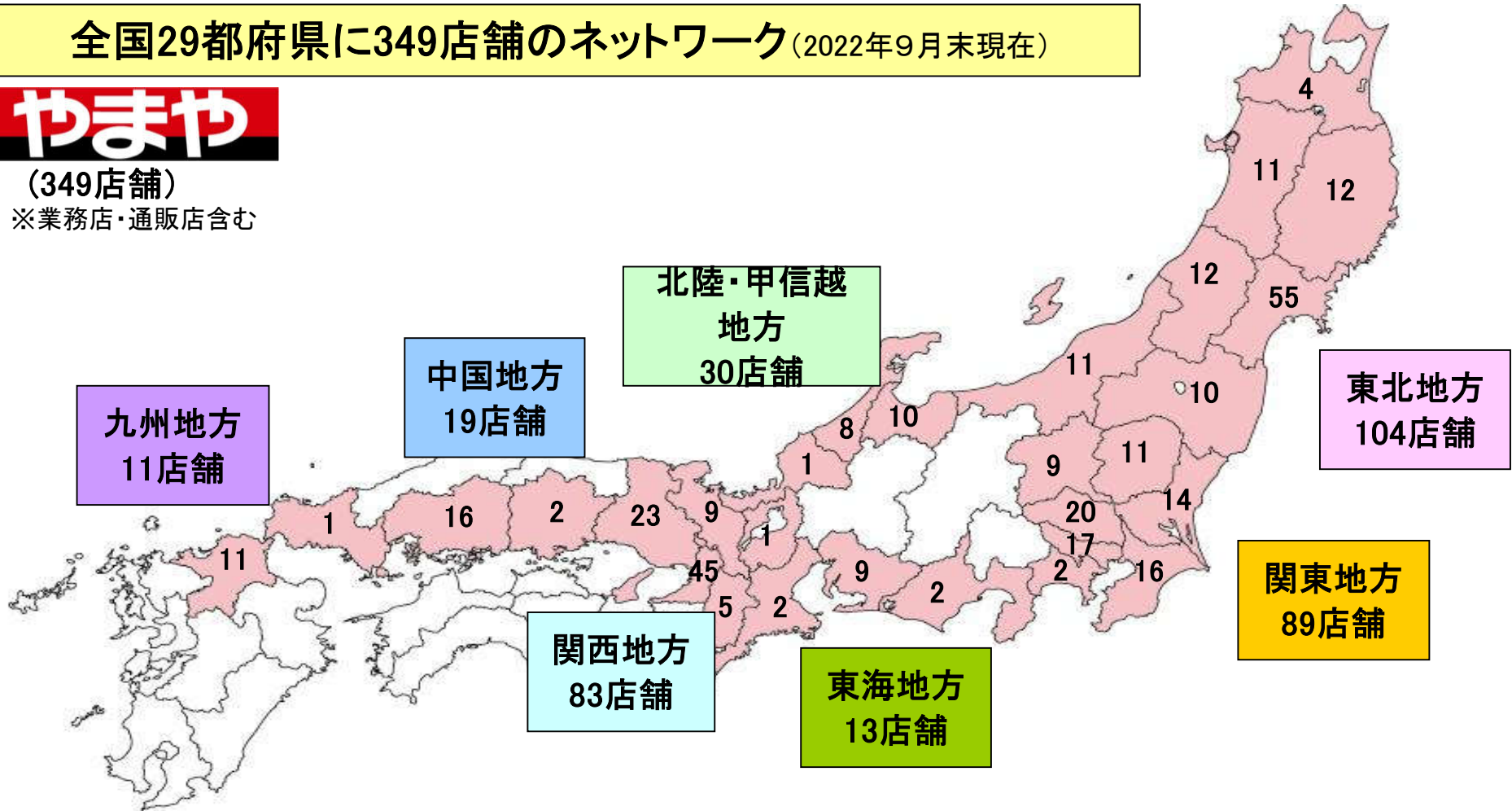
酒販事業 店舗ネットワーク

全国29都府県に349店舗のネットワーク(2022年9月末現在)



(349店舗)

※業務店・通販店含む



株式会社やまや

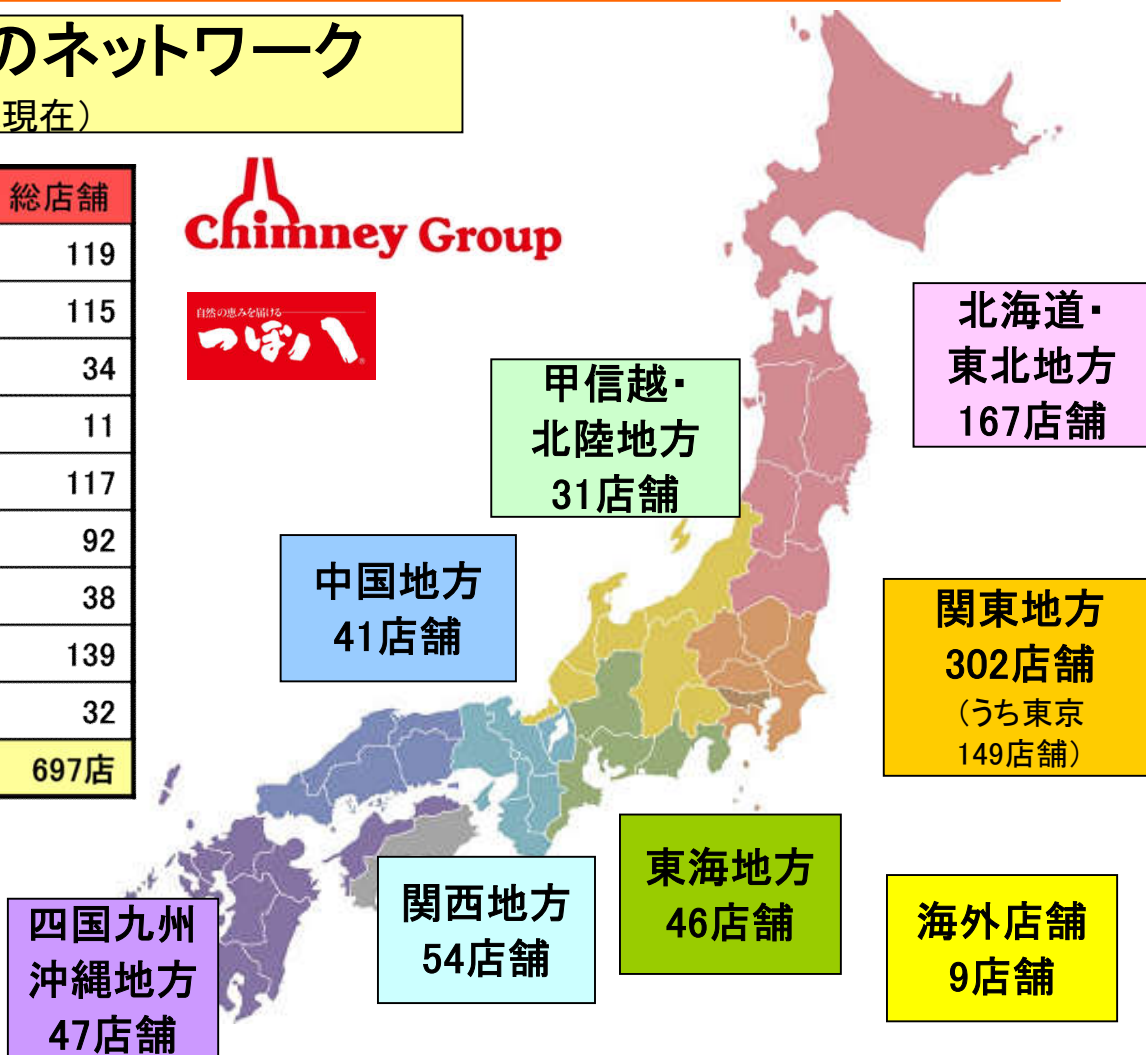
外食事業 店舗ネットワーク

国内外で697店舗のネットワーク

(2022年9月末現在)

	直営店	FC店	総店舗
はなの舞	56	63	119
さかなや道場	83	32	115
安べゑ	34	0	34
牛星	6	5	11
その他	53	64	117
コントラクト事業	92	0	92
チムニー子会社	38	0	38
つぼ八	3	136	139
伊藤課長等	2	30	32
合計	367店	330店	697店

Chimney Group



株式会社Pまじ

重要な連結子会社の状況

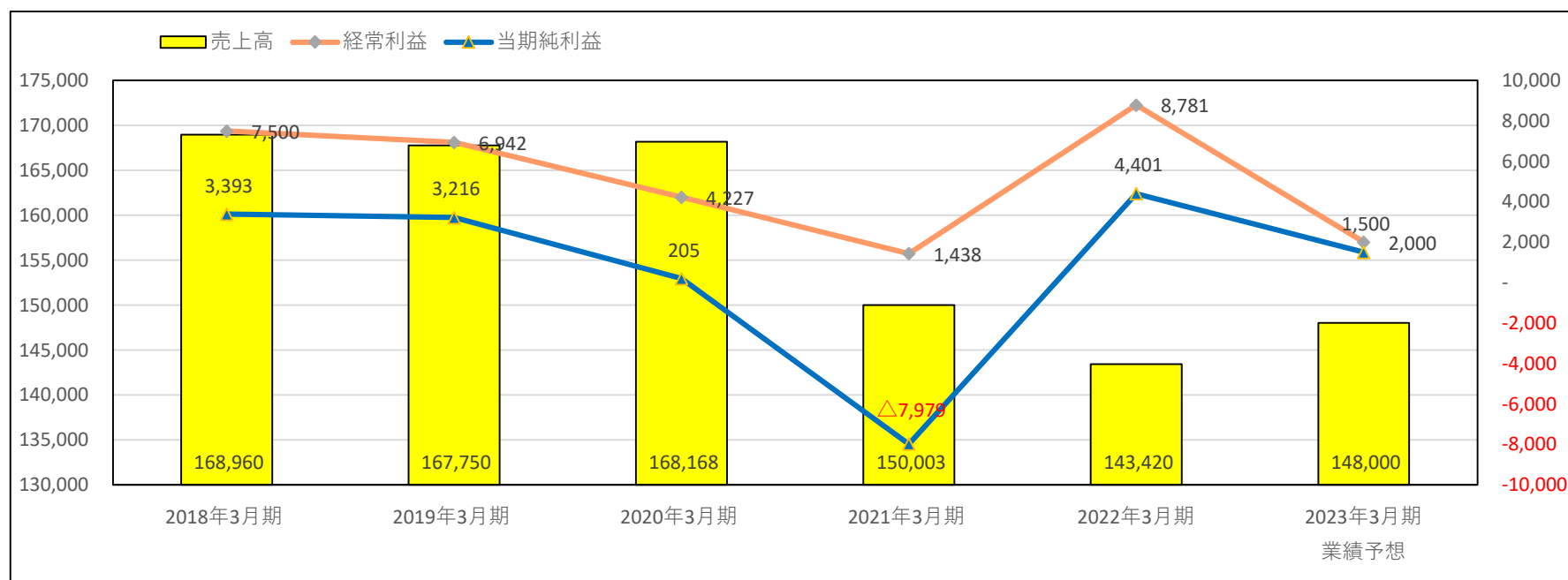
名称	資本金	議決権比率	主要な事業内容
やまや関西(株)	45百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
やまや商流(株)	38百万円	100.0%	酒類・食料品等の卸売
やまや東日本(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品等の小売
大和蔵酒造(株)	10百万円	100.0%	酒類・食料品の製造及び卸売
チムニー(株)	100百万円	50.8%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1)めっちゃ魚が好き(株)	100百万円	100.0%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1) (株)紅フーズコーポレーション	10百万円	100.0%	居酒屋を中心とした飲食業
(※1)魚鮮水産(株)	20百万円	83.4%	漁業、鮮魚の仕入及び販売
(※1)大田市場チムニー(株)	5百万円	100.0%	鮮魚・青果等の仕入及び販売
(※2) (株)つぼ八	50百万円	90.0% (34.0%)	居酒屋を中心とした飲食業
(※2)つぼ八酒類販売(株)	10百万円	100.0%	酒類の卸売

(※1)めっちゃ魚が好き(株)、(株)紅フーズコーポレーション、魚鮮水産(株)、大田市場チムニー(株)の3社はチムニー(株)を通じた間接保有の連結子会社です。チムニー(株)の3社の議決権比率は、めっちゃ魚が好き(株)、(株)紅フーズコーポレーション及び大田市場チムニー(株)は100%、魚鮮水産(株)は83.4%となっております。
 (※2)議決権比率()内は、当社子会社であるチムニー(株)の保有率です。つぼ八酒類販売(株)は(株)つぼ八を通じた連結子会社です。(株)つぼ八の議決権比率は100%であります。

連結決算推移

単位:百万円

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 業績予想
売上高	168,960	167,750	168,168	150,003	143,420	148,000
営業利益	7,411	6,894	4,163	△251	643	2,000
経常利益	7,500	6,942	4,227	1,438	8,781	2,000
当期純利益	3,393	3,216	205	△7,979	4,401	1,500

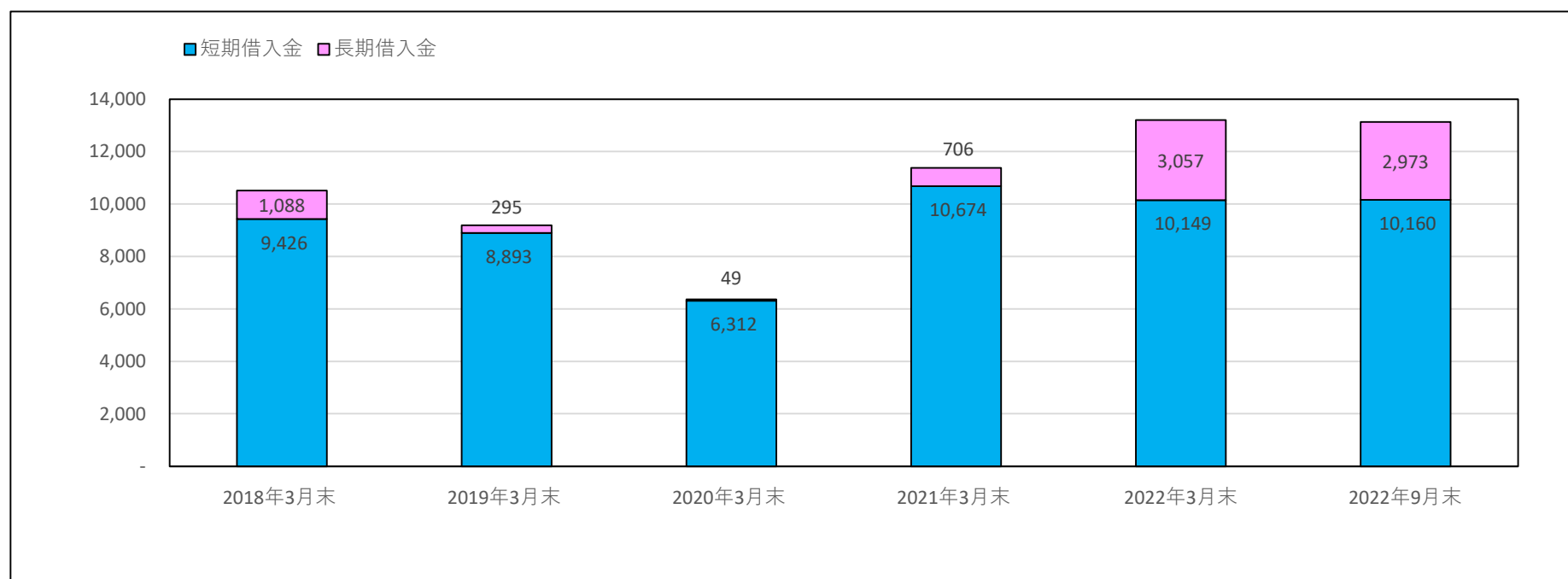


株式会社P&P

連結 借入金の状況

単位:百万円

	2018年3月末	2019年3月末	2020年3月末	2021年3月末	2022年3月末	2022年9月末
短期借入金	9,426	8,893	6,312	10,674	10,149	10,160
長期借入金	1,088	295	49	706	3,057	2,973
合計	10,514	9,188	6,361	11,381	13,206	13,133



株式会社P&P

第2部:セグメント別 2023年3月期 第2四半期の業績

酒販事業 2023年3月期 第2四半期実績

- 売上高 658.8 億円 (前年同期比 $\Delta 1.0\%$)
- 営業利益 18.5 億円 (前年同期比 $\Delta 24.6\%$)

単位:百万円

	第2四半期累計(前期)		第2四半期累計(当期)		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	66,574	-	65,884	-	$\Delta 1.0\%$
売上総利益	13,428	20.2%	12,841	19.5%	$\Delta 4.4\%$
販管費	10,969	16.5%	10,988	16.7%	0.2%
営業利益	2,458	3.7%	1,853	2.8%	$\Delta 24.6\%$

株式会社PJP

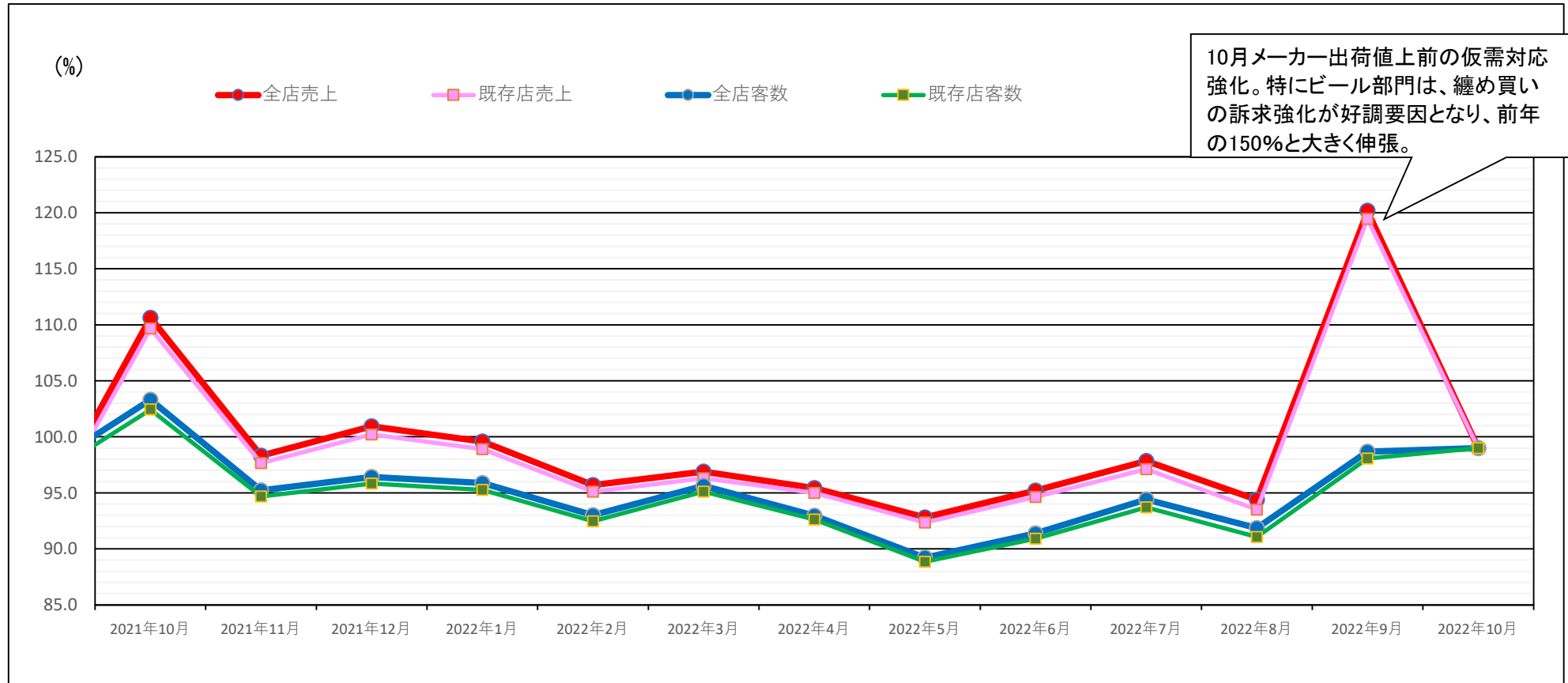
酒販事業 2023年3月期 第2四半期 主要数値の内容

- 売上高 658.8 億円（前年同期比 $\Delta 1.0\%$ ）
 - 既存店 $\Delta 7.6$ 億円（前年同期比 $\Delta 1.2\%$ ）
 - 全 店 $\Delta 5.8$ 億円（前年同期比 $\Delta 0.9\%$ ）
- 売上総利益率 19.5%（前年同期比 $\Delta 0.7$ ポイント）
- 営業利益率 2.8%（前年同期比 $\Delta 0.9$ ポイント）

酒販事業においては、昨年の巣ごもり需要の伸びが、その半分程度は継続して残っており、売上高は前年同期間には及ばないものの、コロナ前の2020年3月期同期間よりは高く推移しました。ビール類の10月メーカー値上げに伴い、9月にはビール等の買い置き需要、仮需が発生しました。その結果、当四半期累計の売上高は前年同等の水準となりました。

酒販事業 2023年3月期 第2四半期の業績

店舗売上及び客数 前年対比の推移

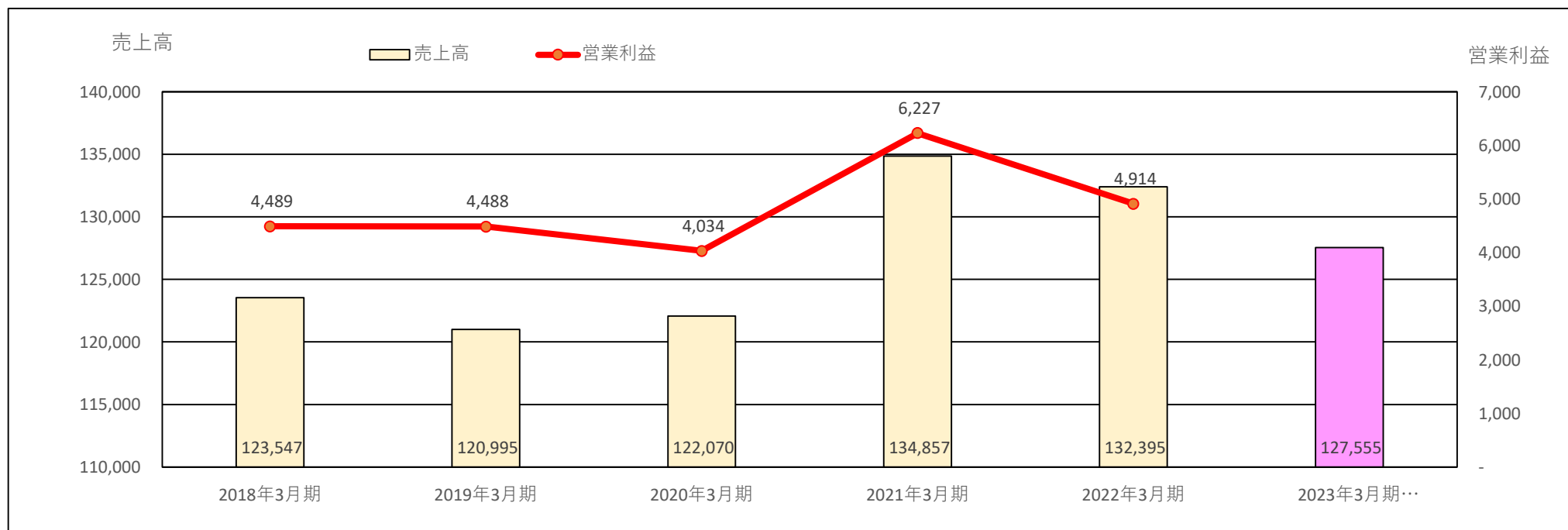


酒販事業 決算推移

単位:(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (計画)
売上高	123,547	120,995	122,070	134,857	132,395	127,555
営業利益	4,489	4,488	4,034	6,227	4,914	

※収益認識反映前



株式会社PJP

外食事業 2023年3月期 第2四半期実績

- 売上高 100.1 億円 (前年同期比 162.6%)
- 営業利益 △13.2 億円 (前年同期比 -)

単位:百万円

	第2四半期累計(前期)		第2四半期累計(当期)		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比
売上高	3,814	-	10,016	-	162.6%
売上総利益	2,508	65.8%	6,351	63.4%	153.2%
販管費	4,863	127.5%	7,675	76.6%	57.8%
営業利益	△2,354	△61.7%	△1,323	△13.2%	-

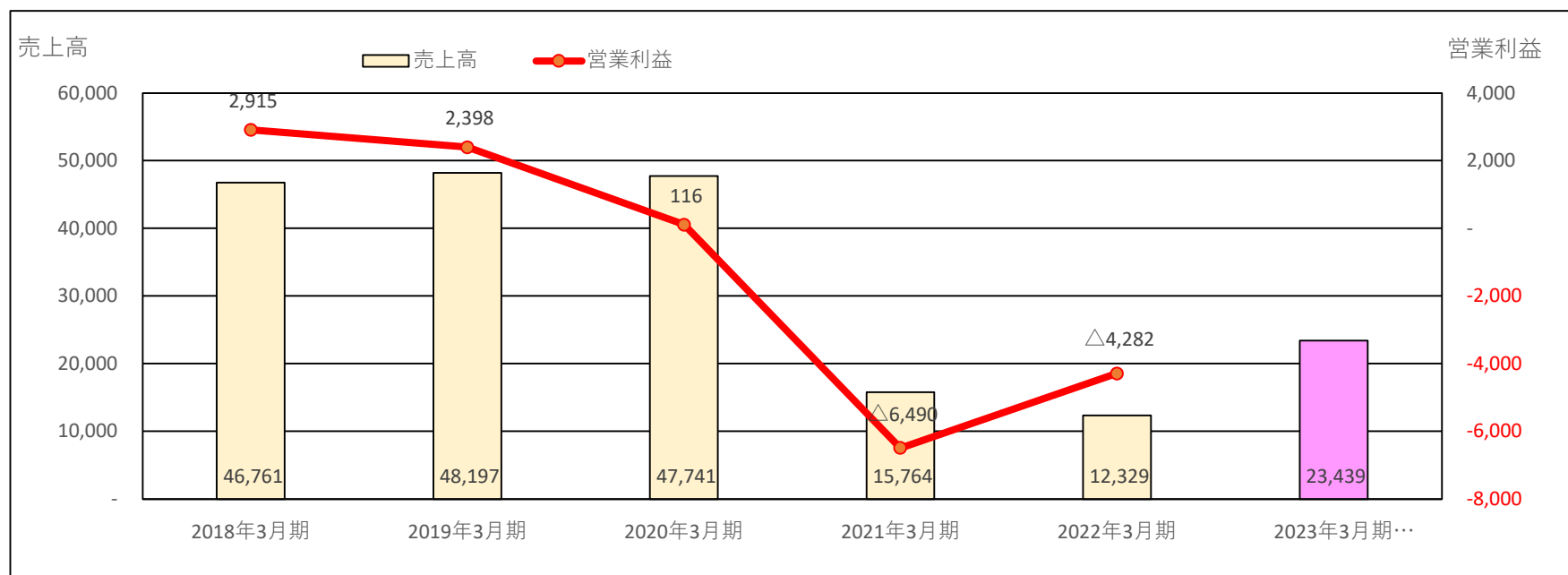
株式会社PJP

外食事業 決算推移

単位:(百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期 (計画)
売上高	46,761	48,197	47,741	15,764	12,329	23,439
営業利益	2,915	2,398	116	△6,490	△4,282	

※収益認識反映前



注意事項

本資料は、当社公表の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、現時点での入手可能な情報を元に当社が判断した、計画・見通し・戦略など、将来の業績に関する見通しにはリスクや不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、さまざまな要因により、見通しと大きく異なる結果となり得ることをあらかじめご了承ください。

掲載内容には細心の注意を払っておりますが、当社および情報提供元は、情報の完全性、正確性、確実性、有用性、その他の保証を行うものではありません。掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関して、当社は事由の如何を問わず一切責任を負いません。

なお、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。実際の投資の際は、当情報に全面的に依拠することなく、皆様ご自身のご判断でお願い申し上げます。